

2成分形弱溶剤系錆止め兼用ウレタン樹脂塗料

DIIA

ダイヤ ナチュラルウレタンSG

ダイヤナチュラルウレタンSGは

防錆機能を付与した金属面塗り替え用塗料です。

軽度な発錆であればケレン後の錆止めプライマーの工程を省略できます。



防錆性



省工程

■包装単位

ダイヤナチュラルウレタンSG・・・ 15kg (A液:13.5kg/B液:1.5kg) セット

ダイヤシンナーN・・・・・・・・・・・・ 16リットル缶

■施工・保管上の注意点

【塗装面の調整(新設)】

- ① 素地に付着している塵、汚れ、油類、レイタンス等を完全に除去して下さい。
- ② 雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。

【塗装面の調整(新設・改修共通)】

- ① 屋上防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。

【塗装面の調整(改修)】

- ① 各現場の改修工事仕様に基づき劣化部分の補修や既存塗膜の処理(ケレン、清掃、高圧水洗浄)などを行って下さい。
- ② 脆弱層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。
- ③ チョーキングは、サンダー・ワイヤブラシ等でケレン後、高圧水洗浄で除去して下さい。
- ④ 既存塗膜の種類によりアブレーション(シブ)を生じることがありますので、あらかじめ目立たない箇所を確認して下さい。

【材料の保管・管理】

- ① 開封した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
- ② 材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- ③ 下記の製品は危険物ですので、火気や換気に十分注意して下さい。
ダイヤナチュラルウレタンSG、ダイヤシンナーN
- ④ 硬化剤は温気で硬化しますので、使用後は密栓して保管して下さい。

【施工】

- ① 気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。
- ② 材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。

- ③ 材料は付着乾燥しますと取れませんが、完全に養生をして下さい。塗面周辺部の養生を完全に行ない、施工時建物の周辺に飛散しないよう注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと斑が残りバリとなります。
- ④ 乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。
- ⑤ コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
- ⑥ 下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- ⑦ 施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げてください。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因となります。
- ⑧ 施工後2時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、剥離に繋がる場合があります。
- ⑨ 本施工に入る前に試験塗りを行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりムラにならないよう確認して下さい。
- ⑩ 希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎるとときに仕上がらないことがあります。特に濃色や下地の吸い込みがない場合等は少なめに希釈して下さい。
- ⑪ 常に結露が発生する地盤・時期での施工は避けて下さい。
- ⑫ 安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- ⑬ 一度に厚く塗ると色分けや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。
- ⑭ 塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
- ⑮ フッ素や無機系などの難接着塗装処理がされている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますので、ご使用の場合は最寄の営業所へご相談下さい。
- ⑯ 可使時間及び塗膜開閉は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。
- ⑰ 使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。
- ⑱ 濃色や原色に近い色の場合、強くすると色が取れる場合があります。

- ⑲ 下地の吸込ムラにより色ムラが発生する場合があります。
 - ⑳ シーラーと上塗りを混合するとゲル化する恐れがありますので、容器・刷毛・ローラーなどの共用は避けて下さい。
 - ㉑ 上塗材を施工する場合は、下塗り後の乾燥状態を確認して下さい。
 - ㉒ ダイヤナチュラルウレタンSGは液タイプですので、小分けする場合は割合割合を厳守し、十分混合して下さい。又、混合したものは可使時間の内に使い切ってください。
- 【安全衛生上の注意】
- ① 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
 - ② 取扱後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
 - ③ 子供の手の届かない所に保管して下さい。
 - ④ 作業中・作業後は十分換気を行ってください。
 - ⑤ 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
 - ⑥ 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
 - ⑦ 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
 - ⑧ 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
 - ⑨ 皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
 - ⑩ 臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

【その他】

- ① その他、詳しくは最寄の各営業所へお問い合わせ下さい。
- ② 施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認ください。
- ③ 施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認ください。

ダイヤナチュラルウレタンSG

■標準施工工程

工程	材料	調割合	所要量	塗回数	乾燥時間		施工用具	
					工程内	工程間		
1	下地調整							(1)下地調整は塗装面の錆の発生状況によって異なりますので、下図の判断基準を参考に既存塗膜実施して下さい。 (2)著しい膨れ、割れ、浮きなどは周辺部を含めて入念に除去して下さい。 (3)発錆は電動工具・手動工具を用いてSPCC-SP3(SISSt3)まで除錆して下さい。 (4)素地に付着している塵、汚れ、油脂類等を完全に除去して下さい。 (5)雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。 (6)施工面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。
2	上塗材 (1回目)	ダイヤナチュラルウレタンSG A液 13.5kg B液 1.5kg ダイヤシンナーN 刷毛・ローラー 0.8~1.5 $\frac{kg}{㎡}$	0.12~0.17kg/㎡ 88~125㎡/セット	1	—	2時間以上 7日以内	中毛ローラー 刷毛	
3	上塗材 (2回目)	ダイヤナチュラルウレタンSG A液 13.5kg B液 1.5kg ダイヤシンナーN 刷毛・ローラー 0.8~2.3 $\frac{kg}{㎡}$	0.12~0.17kg/㎡ 88~125㎡/セット	1	—	—	中毛ローラー 刷毛	

※ 乾燥時間は、標準状態(23℃、50%RH)での時間を示します。

※ 下図の判断基準を参考に適用して下さい。

※ ダイヤナチュラルウレタンSG調合後の可使用時間は、約8時間(23℃)です。

※ 希釈割合は上塗り1回目と2回目では異なります。

下図、A-1、A-2のような錆が確認される場合、又は雨掛りのある部位など腐食環境が厳しい場合は、工具を用いた除錆等、十分な下地調整の上、ダイヤハイエポプライマー、ダイヤヒスイエポサビ #100、ダイヤヒスイエポサビ #200A のいずれかによる下塗りを行って下さい。



A-1



A-2

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たにシーカ・ジャパン株式会社としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dia-dyflex.jp/> にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

(23.12月現在)23.12.200 SJ